



檀信徒の皆様には輝かしい新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

また、喪中にて新年を迎えられましたご家庭には、本年がよい年となりますよう衷心よりお祈り申し上げます。

更に檀信徒の皆様方には、日頃より浄泉寺の護持等に格別のご高配を賜っておりますこと、年頭にあたり改めて厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、実には天候の不安定な年であったように思います。まだ東日本大震災からの復興もままならない中、多くの自然災害が発生しました。雨の全く降らない地域がある中、夏以降は爆弾低気圧なるものも多く発生し局地的に集中豪雨や竜巻等が発生し、多くの被害をもたらしました。因みに浄泉寺では、お盆後に山門の松が枯れてしまいました。夏の暑さも関係したのか大変残念な出来事でありました。また、秋に入ると台風が多くやってきました。特に十月中旬の台風二十六号は、大島等に甚大な被害を与えました。亡くなられた方のご

冥福をお祈すると共に一日も早い復興をご祈念申し上げます。次に行事の方ですが、春の花まつり、お盆の万燈会、秋の観月会と例年通り実施いたしましたが、イベントによって参加者の数が様々で、今年度はこれらを継続するかどうかも含めて検討したいと考えております。

さて本年の予定ですが、先ず正月早々誠に恐縮ですが、宗門では總持寺の二祖様と開祖瑩山禪師様の大遠忌(写真上)の寄附の要請がございまして、これらについて檀信徒の皆様にご協力をお願いを申し上げます。(詳細は次頁)何卒よろしくお願い申し上げます。

また、秋には大本山永平寺への団参も教区参拝旅行として計画されるようです。数年に一度の機会でありますので多くの皆様のご参加をお願いいたします。(詳細は、次号でお知らせいたします。)

おわりに、ご家族様の皆様のご健勝を心からお祈り申し上げます。

住 職 合 掌

当面の行事等

1月 1日 檀信徒初詣

午前9時から午後4時まで

1月 8日～9日

浄泉寺本寺 大雄院(日立市)開山忌

1月11日 総代・世話人会 午前12時00分

2月15日 涅槃会(お釈迦様の忌日法会)

3月18日～24日 春彼岸会

4月6日 降誕会(お釈迦様の誕生日・花祭り)

イベント実施するか検討中(実施の場合は後日お知らせ)

※ お子様方をつれて、甘茶をかけにおいでください。夕方までお参りができます。お子様にはお菓子などを用意します。

大いなる足音が

きこえますか

大本山總持寺

二祖峨山韶碩禪師

大遠忌テーマ

仏さまの教え、それを師から弟子へと絶えることなく受け伝えていくことを、「相承」といいます。

瑩山禪師より仏さまの教えを受け継いだ峨山禪師は、總持寺の基礎を築きました。さらにその教えは、弟子達をはじめ代々の祖師方に受け継がれ広まってきました。そうした大いなる流れの上に私たちが存在しているのです。私たちは、その教えをさらに未来に向けて伝えていかなければなりません。

大いなる足音とは、峨山禪師や歴代祖師の遺した偉大なる足跡や教えは素よりですが、私たちが伝えるべき未来への足音も意味します。その足音に耳を澄ますということは、過去に学び、より良き未来を築くことなのです。

大本山總持寺二祖

峨山韶碩禪師



峨山韶碩禪師は、建治二年（一二七六年）に石川県能登に生まれ、總持寺の二祖として、「五哲」「二十五哲」と呼ばれた

多くの優れた門弟を育成。さらに、その多くの門弟が協力して總持寺を維持し、発展させるために住職を一定期間で交代させる「輪住制」を確立するなど、七百年近くも前に、既に「人財育成」と「教団の将来ビジョン」に深い想いをもち、ただひたすらに總持寺の住職として四十二年間勤め、曹洞宗の教えを全国に展開する基盤を形成しました。

曹洞宗が、永平寺、總持寺の兩本山を始め、現在凡そ



大本山 總持寺 山門

一万五千の寺院と二万五千人の僧侶、そして数百万人を超える檀信徒を要する国内最大の教団に至ったのは、峨山禪師の功績によるものが大きいとされています。

貞治五年（一三六六年）に九十一歳で亡くなられ、来る平成二十七年が六百五十回忌の大遠忌となります。



大本山 總持寺 太祖堂

大本山總持寺御両尊
大遠忌法会勸募の御願い

曹洞宗大本山總持寺におきましては平成二十七年に二祖峨山韶碩禪師六百五十回大遠忌が、平成三十六年には太祖瑩山紹瑾禪師七百回大遠忌が奉修されます。宗制には五十年ごとに大遠忌法要を厳修して祖恩報謝のまことを捧げることが定められており、大いなるご遺徳宣揚すべく準備を進めております。

大本山總持寺では太祖様と二祖様を一体として崇め、「瑩峨御両尊」と尊称しております。二祖様、太祖様との難値難遇の勝縁を続けてお迎えするに際し、「大本山總持寺御両尊大遠忌法会」としてこの二度の大遠忌をそれぞれ単体の事業として捉えるのではなく、約十年にわたる長期視点に立つての報恩法要、記念行事、文化事業、人材の育成、伽藍の維持修復等を総体予算として作成しております。

就中、高祖道元禪師より太祖瑩山禪師に伝えられた教義敷衍の根本道場として、能登に開

創された總持寺が鶴見が丘堂宇を移して百年が過ぎ、諸堂の多くは老朽化が進んでおります。東日本大震災以降の社会状況、本山の地域社会との関わりを鑑み、今ある諸堂を災害に強い建物に生まれ変わらせて、永く本山あるいは宗門の財産として残すことこそ急務と考え、諸堂の耐震工事を筆頭に山内伽藍の整備をして法要営辨を成就せんとするものとしております。

つきましては、大本山總持寺より全国曹洞宗寺院に標準志納と特別志納の寄付の依頼がございました。

浄泉寺への割り当ては約三十万円でございました。そこで浄泉寺といたしましては、檀信徒の皆様にもこの勝縁を共に迎えて頂くことを願い浄財の勸募をお願いいたしました。

檀信徒各位におかれましては本趣旨をご理解賜り、ご協力をお願い申し上げる次第でございます。

ご協力いただけます方は、同封の振込用紙にて、三月末日までに一軒当たり三千円をお願い申し上げます。 住職合掌

八月十五日送り盆の夜 浄泉寺恒例の万燈会開催



境内や墓所に青竹で灯籠をつくり、ご近所の方の手伝っていただき、約三〇〇の灯りがともされ、幽玄な中にもご先祖様の御霊を送る厳かな雰囲気醸し出されました。

本堂では、午後七時から各ご家庭のご先祖様のご供養の法要が行われました。

また、恒例のイベントでは本年は例年と少し趣向を変えて、落語の怪談話を聞くことになり、嘶家桂 夏丸さんにお招きいたしました。

桂 夏丸さんは平素から怪談話を得意とし、多くの高座で演じられております。今回の怪談話は会場が千葉県ということもあり、下総、木下、鎌ヶ谷、船橋といった千葉の地名が沢山出てくる「鏡ヶ池操松影より

江島屋

怪談」と

いうお話

で、高座

の前には

燭台が置

かれ、灯

りを落し

た本堂内

で聴衆の

皆さんも

これから話される怪談嘶に興味津々。それに桂さん一寸やせ気味で表情もつくられていたのか、こわあゝい雰囲気は最高です。さらに送り盆の夜に聴くと一層怖い怪談嘶でした。

特にお墓が浄泉寺にある多くのお檀家さんは、ご先祖様を送ってから本堂に上がられ、ご先祖法要に参加し、怪談嘶も楽しんでお帰りになりました。



十月十九日の 浄泉寺観月会



十月十九日の十三夜 午後7時から恒例の浄泉寺観月会が開催されました。

曹洞宗開祖道元禪師を偲び、本堂に「道元禪師観月の図」を掲げ、宗祖の供養と名月を見ながら素敵な音楽を楽しもうというものです。

今年は、ギター弾き語りの松しようさんをお招きしました。当日はあいにくの雨模様で、お月様は見る事が出来ませんでしたでしたが、懐かしい歌をたくさん聴くことができました。月にまつわる曲や参加者の年代にあわせた構成で、そのブルジョーにアレンジされた演奏で参加者を魅了しました。西田サチコの「東京ブルース」や最近亡くなられた藤圭子

の「新宿ブルース」などの演歌をアレンジしたかっこいい演奏に始まり、サッチモやビートルズなどの洋楽からフォークソングやオリジナルソングまで見事に歌い上げ、その歌唱力はとても素晴らしいものでした。

また参加者からのリクエストにも応えて頂き、夜の更けるのを忘れて楽しみました。



仏教豆知識（お香の功德）

お香は、インドでは古代より、臭気を除き、身心を爽やかにする生活必需品として愛用されました。特に来客があれば、お香を焚いて室内を清涼にし、もてなすのが礼儀とされたのです。それが、お釈迦様の時代に、供養の品として取り入れられ、仏教の発展と共に、最高の供養品として尊重されるようになった

ものです。お香は、昔から「仏の使い」と言われています。これは、お香は人間の信心をよく仏菩薩に通じさせることのできる使者、という意味です。それについて次の話があります。

お釈迦様が現世におられたころ、或る長者の息子が、お釈迦様のために、お堂を建てたことがありました。息子は、お釈迦様をお迎えしたいと思い、香を焚いてお釈迦様のいらっしゃる祇園精舎の方に向かって、来臨を祈願しました。すると香煙は風に吹かれて祇園精舎へとたなびき、お釈迦様の御頭の上を、香煙がおおうほどになりました。

た。お釈迦様は息子の信仰の篤さを知り、早速、そのお堂にやって来られた、という話です。

この因縁により、香を焚くと、仏菩薩が直ちに降臨される、という信仰が生まれたのです。またお香は、一度火をつけて燃やせば、燃え尽きるまで消えることとはありません。このはたらくを精進といい、六波羅蜜（菩薩の六つの実践徳目）の中の、「精進」にたとえられます。



警察官の坐禅研修

受け入れ

浄泉寺では、ここ数年佐倉警察の射撃大会出場チームの大会前坐禅研修を、お受けしてきました。そのようなご縁で、今年に入ってから佐倉警察署員の坐禅研修として二月に二度、一回三十名程度で勤務後の夜に受け入れ実施いたしました。

また、秋には佐倉・成田警察署の比較的若い署員の皆様を対象に二回ほど実施しております。皆様も坐禅はいかがでしょう。か。(毎月第一日曜朝六時から実施)

浄泉寺
アラルト

本堂仏具の奉納

浄泉寺報第九・十号で皆様にご協力をお願いしました本堂仏具のご奉納ですが、この度櫻製灯籠台と櫻製立見台の二点について、ご奉納の申し出を頂きました。

仏具の納入に併せてご奉納いただきました御家の先祖供養をさせていただき感謝の意を表しました。大変有難うございました。

■ 櫻製灯籠台

奉納者 柏市 柏

石川 祥子様



石川家ご家族ご一同様

■ 櫻製立見台

奉納者 福岡県遠賀郡

松山 直様



松山家ご長男ご家族様

石川様は亡くなられたご主人様の菩提を弔うため、また松山様はご先祖供養のためご奉納いただきました。

また、この立見台の購入に当りましては、次の方々から頂戴いたしました浄財も使わせていただきました。

- ・江澤 静子様 (酒々井町上岩橋)
- ・井上照八洲様 (成田市加良部)
- ・村嶋 和広様 (成田市飯仲)
- ・青木 忠誠様 (成田市飯仲)
- ・今村 つる様 (成田市橋賀台)
- ・鳴田 賢司様 (成田市飯仲)
- ・本多 勝治様 (成田市加良部)
- ・北川 雅由様 (酒々井町酒々井)

有難うございました。
ご奉納いただきました仏具は、大切に使用させていただきます。

お願いとお知らせ

■ 浄泉寺墓苑をお使いの方で
使用許可後三年を経過して、特別の事情があると墓地管理者である住職が認める方以外で、未だ外柵工事等を実施していない方につきましては、出来るだけ早い時期に工事等を実施されるようお願い申し上げます。

浄泉寺墓地管理規則第七条に、このことが規定されておりますので、よろしくお願い申し上げます。

合の卒塔婆供養につきましましては、浄泉寺で朝の勤行時に併せてご供養してお渡しいたしております。

しかしながら法事を営む方は、別にお布施をお願い致しておりますので、卒塔婆供養だけの方と不均衡を生じております。

つきましては、年忌供養で卒塔婆だけの場合は、平成二十六年より卒塔婆供養料を含み一本につき五千円に改訂いたしたくお願い申し上げます。

平成二十六年一月

浄泉寺住職 合掌

檀信徒各位

やすらぎは

ご先祖の供養から

一周忌	平成二十五年
三回忌	平成二十四年
七回忌	平成二十年
十三回忌	平成十四年
十七回忌	平成十年
二十三回忌	平成四年
二十五回忌	平成二年
二十七回忌	昭和六十三年
三十三回忌	昭和五十七年